

CS82U/CS84U

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CS82U/CS84U 取り扱いの便宜を図るため、製品同梱 英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、製品同梱の英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2011 年 6 月 20 日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く改変されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、電源アダプター、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。

※本保証期間は2007年9月1日以降にご購入された製品に適用されます。それ以前に購入された製品については、保証期間は1年間です。

【補足】

- ・本規定は ATEN/ALTUSEN ブランド製品に限り適用します。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当代金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を、必ずしも満たすものではございません。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
FCC.....	4
RoHS.....	4
SJ/T 11364-2006	5
安全にお使い頂くために.....	6
全般	6
同梱品.....	8
本マニュアルについて.....	9
マニュアル表記について.....	10
第1章 はじめに.....	11
概要.....	11
特長.....	12
ハードウェア要件.....	13
コンソール.....	13
コンピューター	13
ケーブル	13
OS.....	14
製品各部名称	15
CS82U フロントパネル	15
CS84U フロントパネル	15
CS82U リアパネル	17
CS84U リアパネル	17
第2章 セットアップ方法.....	19
ケーブルの接続方法.....	19
接続図	20
第3章 基本操作.....	21
概要.....	21
手動切替.....	21
マウスによるポート切替.....	22

電源 OFF と再起動	22
ポート ID の割り当て	22
ポートの手動選択に関する代替設定	23
第 4 章 ホットキー操作	24
ポート切替	24
ポート切替(循環切替)	24
ポート切替(ダイレクト切替)	24
オートスキャン	25
ホットキーセッティングモード	26
ホットキーセッティングモードの起動	26
ホットキーセッティングモードの代替起動キー	27
ポート切替の代替キー	27
キーボード言語	28
キーボード操作プラットフォーム	28
切替設定の一覧表示	29
USB リセット	29
ホットキービープ音	29
ポート切替キーの無効化	29
ファームウェアアップグレードモード	30
デフォルト設定の復元	30
ビデオダイナシンク	30
マウスによるポート切替	31
マウスエミュレーションコントロール	31
キーボードエミュレーションコントロール	31
その他の OS モード	31
ホットキーセッティングモード一覧表	32
第 5 章 キーボードエミュレーション	33
Mac キーボード	33
Sun キーボード	35
第 6 章 ファームウェアアップグレード ユーティリティ	36
作業を始める前に	36
アップグレードの開始	37
アップグレード成功	38
アップグレード失敗	39
付録	40
製品仕様	40

トラブルシューティング	42
ホットキーのデフォルト設定.....	44

FCC

この装置はFCC(米国連邦通信委員会)規則、パート15の副章Jに従い、デジタル装置クラスBの制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、本装置が一般家庭内で取り付けられたときに、有害な電波干渉が発生するのを防ぐために設定されています。また、本装置は高周波エネルギーを使用し、発生させることがあります。この操作マニュアルに従わずに本装置を取り付け、使用した場合、電波通信に有害な障害を起こすことがあります。但し、定められた取り付け方法に従えば、必ず電波障害が起こらないと保証するものでもありません。本装置がラジオまたはテレビの電波受信に有害な障害となっているかどうかは、本装置の電源を入れたり、消したりして、確認してください。また、以下のひとつまたは複数の方法に従って、電波障害の状況を改善されることを推奨いたします。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- ◆ 本装置と受信機の距離を離してください。
- ◆ 受信機が接続されているコンセントと異なる電気回路に本装置のコンセントを差し込んでください。
- ◆ 販売店または、十分な経験を有するラジオ/テレビの技術者にお問い合わせください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

SJ/T 11364-2006

The following contains information that relates to China.

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

- : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。
- : 表示符合欧盟的豁免条款，但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- ×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。



安全にお使い頂くために

全般

- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 製品付属の電源ケーブルは安全のために3ピンタイプのプラグを使用しています。電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者にお問い合わせで適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。
- ◆ 危険な電源ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりする恐れがありますの

で、キャビネットのスロットには何も挿入しないでください。

- ◆ 装置をご自身で修理せず、何かありましたら技術サポートに修理を依頼してください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントをはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 技術サポートの修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

同梱品

CS82U/CS84U 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CS82U/CS84U PS/2 USB KVM スイッチ ×1
- ◆ KVM ケーブル(CS82U) ×2
- ◆ KVM ケーブル(CS84U) ×4
- ◆ 英語版ユーザーマニュアル ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、CS82U/84U に関するセットアップ方法、設定方法、操作方法についての情報が掲載されています。

マニュアル構成は下記のようになっています。

第1章 はじめに: CS82U/CS84U を紹介します。特長および機能の概要および製品各部名称について説明します。

第2章 セットアップ: セットアップ方法について説明します。また必要手順についても説明しています。

第3章 基本操作: CS82U/CS84U の機能概要および操作方法について説明します。

第4章 ホットキー操作: CS82U/CS84U のホットキー操作に関する機能概要、および操作手順について説明します。

第5章 キーボードエミュレーション: PC 互換キーボードから Mac キーボードまたは Sun キーボードへのエミュレーションについて対応表を用いて説明します。

第6章 ファームウェアアップグレードユーティリティ: CS82U/CS84U のファームウェアを最新のバージョンにアップグレードする方法について説明します。

付録 CS82U/CS84U の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

マニュアル表記について

[]

入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。またホットキー操作のようにキーを連続して押す場合は、[Ctrl] , [Alt] , [Shift]のようにコンマ(,)を挟んで表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆

◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→

矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Runを選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

第1章 はじめに

概要

CS82U/CS84U PS/2-USB KVM スイッチは、2 台、または 4 台のコンピューターを一組の KVM コンソール (PS/2 または USB キーボードとマウス、および VGA モニター) からの操作を可能にするデスクトップコントロールユニットです。さらに、CS82U/CS84U は ATEN の新技術「ビデオダイナシンク」により、ブート時のディスプレイ問題を回避し、解像度を最適化できるのが特長です。また、デュアルコンソールキーボード/マウスポートを搭載しているので、PS/2 または USB キーボード/マウスを組み合わせ使用することもできます。

コンピューターへのアクセス方法には、本体のフロントパネルにあるプッシュボタンによるポート選択、キーボードからのホットキー入力、そしてマウスによるポート切替 (USB マウスのホイールをダブルクリックして切替) の 3 種類があります。

セットアップは必要なケーブルを適切なポートに接続するだけなので、簡単で時間もかかりません。ソフトウェアの設定は不要ですので、定期的なアップグレードや互換性の問題に悩まされることもありません。CS82U/CS84U はキーボード入力をダイレクトに受信しますので、様々なプラットフォームのコンピューターを接続してお使いいただけます。

CS82U/CS84U の導入によって、作業時間の短縮やコストの削減が期待できます。CS82U/CS84U は 1 組のコンソールから製品配下のコンピューターを操作することができるので、コンピューターごとにコンソールを買い揃えるコストが省けます。またこうしたコンポーネントを設置する必要がなくなるので、省スペースを実現し、光熱費の削減にも貢献し、操作するコンピューターに合わせて作業場所を移動する必要がなくなるというメリットがあります。

特長

- ◆ 一組の PS/2-USB VGA コンソールから 2 台 (CS82U) / 4 台 (CS84U) の VGA インターフェース対応コンピューターの操作が可能
- ◆ コンピューター切替方法 - フロントパネルのプッシュボタン、ホットキー、マウス
- ◆ マルチプラットフォーム対応 - Windows XP/2003/2008/Vista/7, Linux, Mac, Sun*
- ◆ 解像度 - 最大解像度 2,048×1,536、DDC2B 準拠
- ◆ ATEN 独自のビデオダイナシンク技術(ディスプレイエミュレーション) - ブート時のディスプレイ問題を回避し、ポートを切り替えた際に解像度を最適化
- ◆ ワイドスクリーンの解像度に対応
- ◆ コンソールマウスポートエミュレーション/バイパス機能 - ほとんどのマウスドライバー及び多機能マウス対応
- ◆ キーボードエミュレーション機能でブート時のエラーを回避
- ◆ ゲーミングキーボード対応
- ◆ Mac/Sun キーボードエミュレーション対応*
- ◆ 多言語キーボードマッピング - 英語、日本語、フランス語の各言語のキーボードに対応
- ◆ オートスキャンモード - 製品に接続されたコンピューター全てを自動的に切替表示
- ◆ ファームウェアアップグレード可能
- ◆ 電源不要

-
- 注意:**
1. 全詳細については、p.44 「ホットキーのデフォルト設定」をご参照ください。
 2. PC キーボードを使用した場合はキーの組み合わせで Mac/Sun キーボードの特殊キーが入力できます。但し、Mac/Sun キーボードは Mac/Sun でしか使用できません。
-

ハードウェア要件

コンソール

- ◆ 接続されたコンピューターの解像度に対応した VGA モニター
- ◆ USB または PS/2 マウス
- ◆ USB または PS/2 キーボード

コンピューター

製品に接続するコンピューターには下記のハードウェア環境が必要です。

- ◆ VGA ポート

注意: ディスプレイの品質は VGA カードの品質に左右されます。最高の状態でお使い頂くために、これらのディスプレイ関連のアイテムには高品質の製品を購入されることを推奨します。

- ◆ USB タイプ A ポート、または 6 ピンミニ DIN PS/2 ポート

ケーブル

CS82U/CS84U には、本製品向けに設計された KVM ケーブルのみを接続してお使い頂くことが可能です。製品パッケージには KVM ケーブルが 2 本(CS82U)または 4 本(CS84U)同梱されています。同梱品以外のケーブルが必要な場合は、下表をご参照の上、ご注文願います。

コネクタ	ケーブル長	型番
USB, PS/2	1.2m	2L-5301UP
USB, PS/2	1.8m	2L-5302UP
USB, PS/2	3.0m	2L-5303UP

注意: 表示画質は、ケーブルの品質と長さに左右されます。ケーブルを追加で購入される際には、販売店までご連絡の上、お使いの KVM スイッチに適したケーブルをご確認ください。

OS

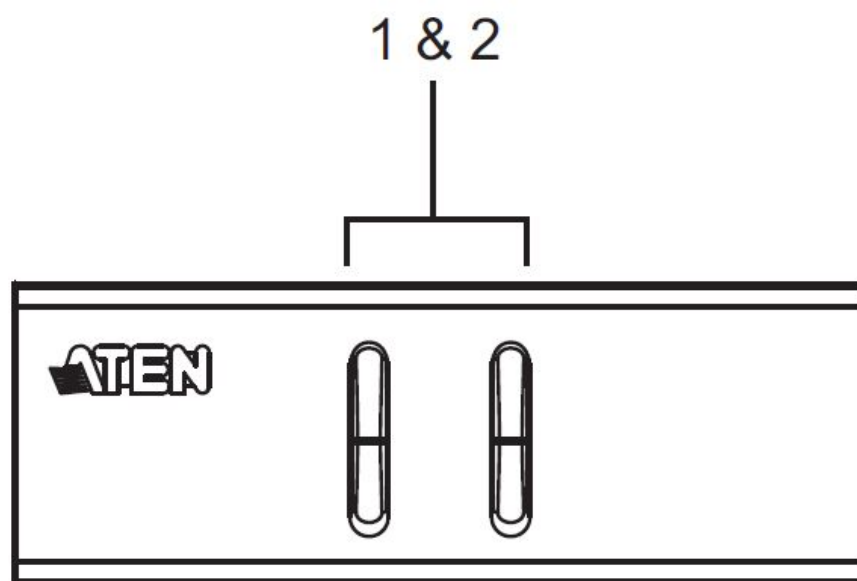
本製品の対応 OS は下表の通りです。

OS		バージョン
Windows		XP / 2003 / 2008 / Vista / 7
Linux	RedHat	9.0 以降
	SuSE	10 / 11.1 以降
	Debian	3.1 / 4.0
	Ubuntu	7.04 / 7.10
UNIX	AIX	4.3 以降
	FreeBSD	5.5 / 6.1 / 6.2
	Sun	Solaris 8 以降
Novell	Netware	6.0 以降
Mac		OS 9 から 10.6

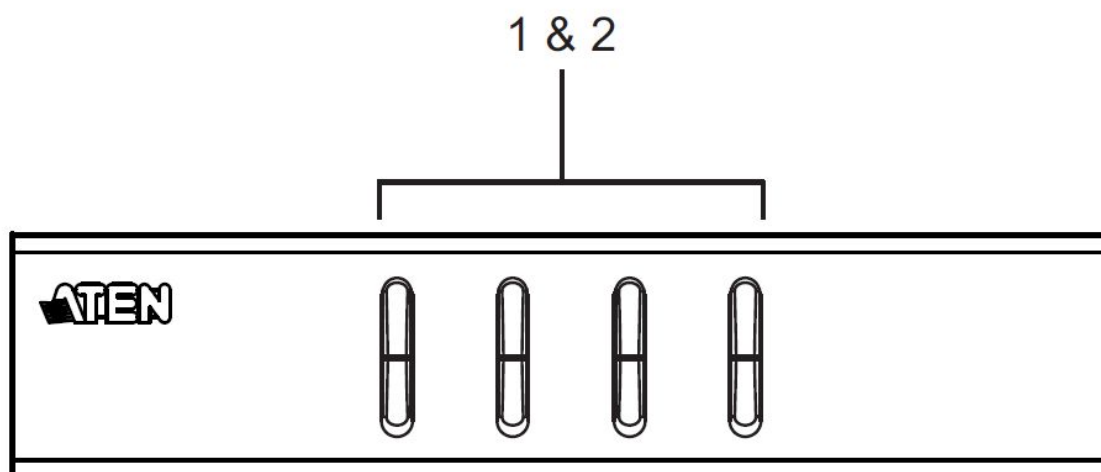
注意: Linux Kernel 2.6 以降に対応します。

製品各部名称

CS82U フロントパネル

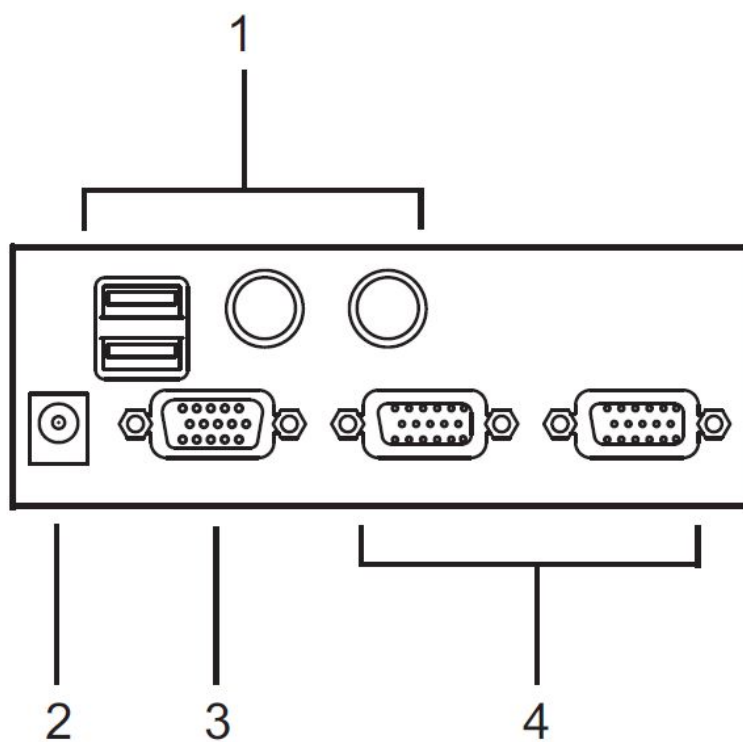


CS84U フロントパネル

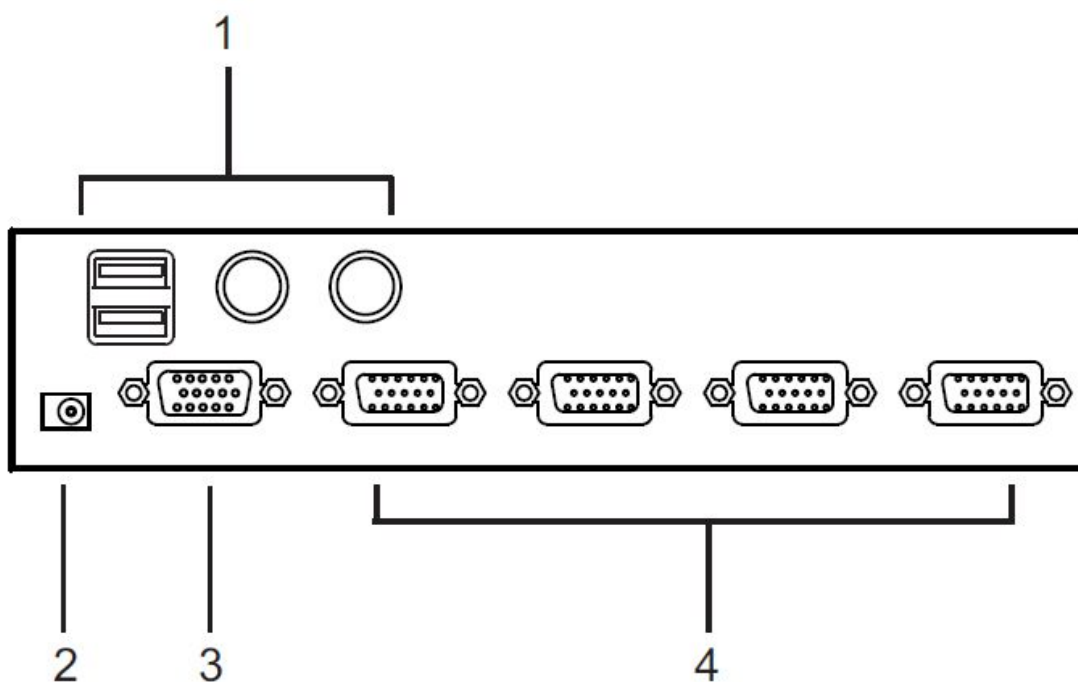


No.	名称	説明
1	ポート選択ボタン	<p>手動でポートを選択する場合は下記に従ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ポート選択ボタンを押して指を離すと、そのポートのコンピューターへの KVM 操作ができます。また、ポート LED ランプがオレンジに点灯します。 ◆ ボタン 1 と 2 を同時に 2 秒間以上押すと、オートスキャンを開始します。詳細は p.25 「オートスキャン」をご参照ください。 ◆ ボタン1または 2 を押して指を離すと、オートスキャンが停止します。ボタンを押した方のポートにあるコンピューターへの KVM 操作ができるようになります。 ◆ ボタン 3 と 4 を同時に 2 秒以上押すと、キーボードとマウスのリセットができます(CS84U のみ)。
2	ポート LED ランプ	<p>このランプはポート選択ボタンに内蔵されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 暗いオレンジ色に LED ランプが点灯している場合は、このポートに接続されたコンピューターに電源が入っている(オンライン)ことを表します。 ◆ この色で点滅している場合は、ファームウェアアップグレードモードが有効であることをあらわします。 ◆ 明るいオレンジ色に LED ランプが点灯している場合、そのポートに接続されたコンピューターで KVM 操作ができることを表します。 ◆ この色で LED ランプが点滅している場合、そのポートに接続されたコンピューターをオートスキャン機能でスキャン中であることを表します。

CS82U リアパネル



CS84U リアパネル



No.	名称	説明
1	コンソールキーボード/マウスポート	USB または PS/2 キーボードとマウスからのコネクタをここに接続します。各コネクタには該当するアイコンと色付けがされています。
2	電源ジャック	外部電源を使用する場合には、電源アダプターのケーブル部分をここに接続します。
3	コンソールモニターポート	VGA モニターをここに接続します。
4	KVM ポートセクション	CS82U/CS84U とコンピューターを接続する本製品用の KVM ケーブルをここに接続します。各 KVM ポートセクションは、USB、PS/2、VGA 接続を組み合わせた SPHD 18ピンメスコネクタ1ポートから構成されています。

- 注意:**
1. 電源アダプター (DC 5V) の使用はオプションとなっておりますので、必要な場合は別途お買い求めください。
 2. SPHD 15ピンコネクタは、本製品用の KVM ケーブルを接続し、本製品を動作させるために設計されたものです。(詳細は p.13 「ケーブル」を参照) 決して通常の 15ピン VGA コネクタがついたケーブルをコンピューターとの接続に使用しないでください。

第2章

セットアップ方法



1. 機器の設置に際し重要な情報を p.6 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。コンピューターにキーボード起動機能がついている場合は、ここから電源ケーブルも抜いてください。

ケーブルの接続方法

CS82U/CS84U をセットアップする場合は、下記の接続図(図内における番号は手順に対応)を参考にしながら、下記の手順に従って作業を行ってください。

1. キーボードとマウスを本製品のリアパネルにある USB または PS/2 ポートに接続してください。
2. コンソールで使用するモニターを本製品のリアパネルにある VGA コンソールポートに接続した後、このモニターの電源を入れてください。
3. 本製品に同梱されている KVM ケーブルの SPHD コネクタを本製品の KVM ポートセクションにある任意のポートに接続してください。
4. この KVM ケーブルの反対側にある USB または PS/2、そして VGA コネクタをコンピューターの各ポートに接続してください。

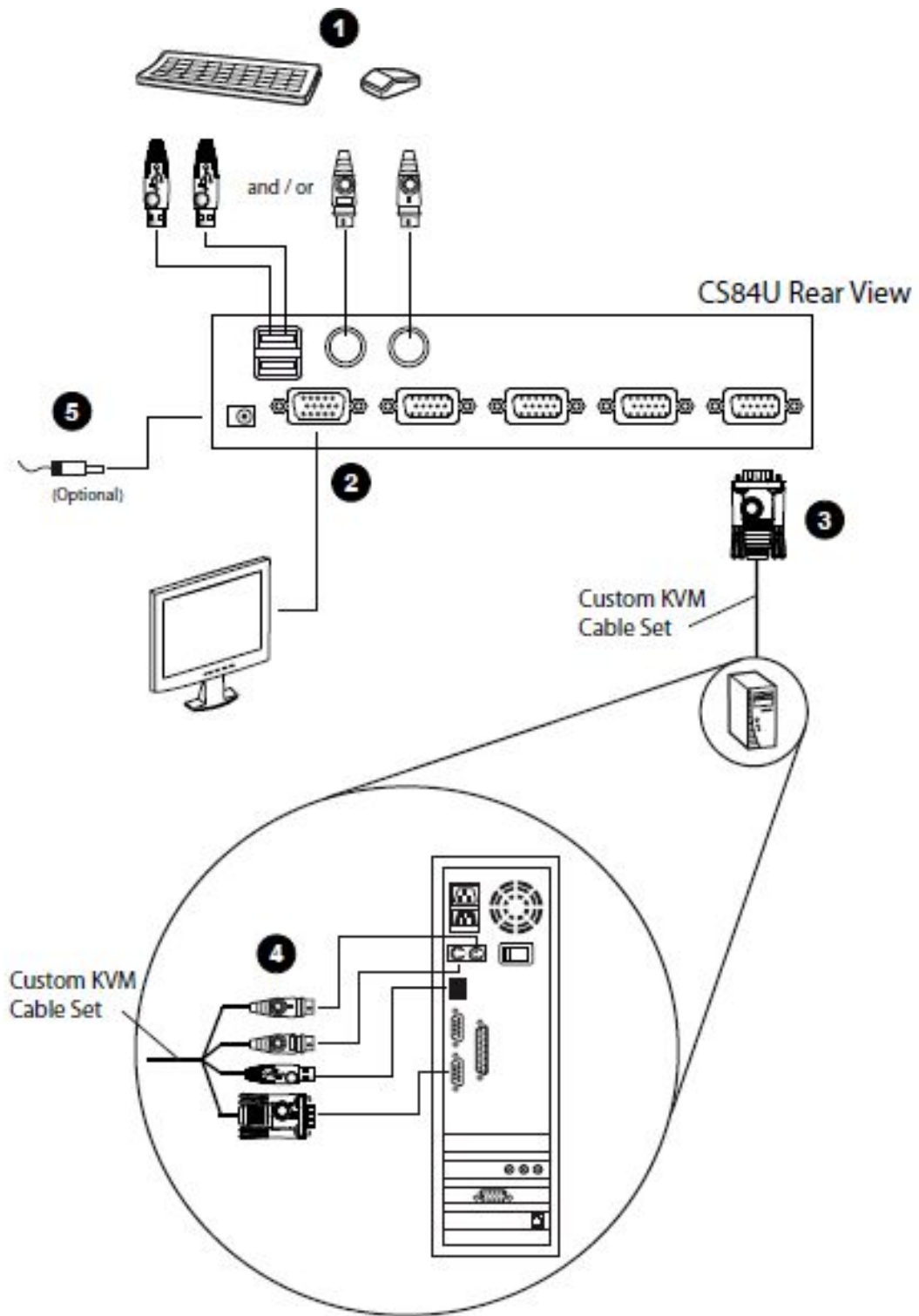
注意: 例えば USB マウスと PS/2 キーボードのように、USB と PS/2 を組み合わせたコンソールを使用される場合は、USB と PS/2 コネクタの両方をコンピューターに接続してください。

5. 外部電源を使用される場合は、電源アダプターを電源コンセントに接続してから、電源アダプターのケーブルを本製品の電源ジャックに接続してください。

注意: 電源アダプターは DC 5V (内側+極、外側-極)のものをお使いください。

6. コンピューターの電源を入れてください。

接続図



第3章 基本操作

概要

接続されたコンピューターへアクセスする方法は、手動(本製品のフロントパネルにあるポート選択ボタンを押す)、マウス(USB マウスのマウスホイールをクリック)、キーボードからのホットキーの 3 種類の操作方法をご用意しております

ホットキーによるポートの選択方法は次章で詳しく説明します。

手動切替

手動でポートを切り替える場合は、下記の方法で操作してください。

- ◆ ポート選択ボタンを押して指を離すと、そのポートのコンピューターへの KVM 操作ができます。また、ポート LED ランプがオレンジに点灯します。
- ◆ ボタン 1 と 2 を同時に 2 秒間以上押すと、オートスキャンを開始します。詳細は p.25 「オートスキャン」をご参照ください。
- ◆ ボタン1または 2 を押して指を離すと、オートスキャンが停止します。ボタンを押した方のポートにあるコンピューターへの KVM 操作ができるようになります。
- ◆ ボタン 3 と 4 を同時に 2 秒以上押すと、キーボードとマウスのリセットができます。(CS84U のみ)

マウスによるポート切替

CS82U/CS84U は、マウスによるポート切替に対応しています。これは、お使いの USB マウスのスクロールホイールをダブルクリックすることで、ポートを順番に切り替える操作です。

- 注意:**
1. この切替方法は、コンソールに USB 3-key スクロールホイールマウスを使用した時に限りご利用いただけます。
 2. デフォルトではこの機能は無効に設定されています。
 3. この切替方法は、マウスエミュレーション機能が有効になっている時に限りご利用いただけます。詳細については p.31 「マウスによるポート切替」をご参照ください。
-

電源 OFF と再起動

CS82U/CS84U の電源を切る必要がある場合は、本製品の電源を入れる前に下記の手順に従って操作を行ってください。

1. 本製品に接続されたコンピューターをすべてシャットダウンしてください。
2. 本製品に接続された電源アダプターを AC 電源から外してください。
3. 10 秒ほど経過したら、手順2 で取り外した電源アダプターを再度 AC 電源に接続してください。
4. 本製品が起動したら、接続されているコンピューターの電源を入れてください。

ポート ID の割り当て

CS82U/CS84U の各 KVM ポートセクションには、ポートナンバーが割り当てられています。(CS82U は 1~2、CS84U は 1~4 をそれぞれ使用)。これらのポートナンバーは本体のリアパネルに記載されています(詳細は p.17 を参照)。

コンピューターのポート ID は、これが接続されている KVM ポートに基づいて決まります。例えば、KVM ポート 2 に接続されているコンピューターには、2 番のポート ID が割り当てられています。

このポート ID は、ホットキーでポート選択 (p.24 参照) を行う際に、KVM 操作ができるようになるコンピューターを指定するために使用します。

ポートの手動選択に関する代替設定

ホットキーセッティングモードが有効になっている時に、[S]キーを押すと、下記のようなポートの手動選択の代替設定ができます。

- ◆ ポート選択ボタンを1回押すと、そのポートのコンピューターへのKVM操作ができます。
- ◆ ボタン1と2を同時に2秒間以上押すと、オートスキャンを開始します。詳細は p.25 をご参照ください。
- ◆ ボタン1または2を押して指を離すと、オートスキャンが停止します。ボタンを押した方のポートにあるコンピューターへのKVM操作ができるようになります。
- ◆ ボタン3と4を同時に2秒以上押すと、キーボードとマウスのリセットができます。(CS84Uのみ)

第4章

ホットキー操作

CS82U/CS84U は、KVM スイッチの操作や設定をキーボードから行うことができる使いやすいホットキー機能を提供しています。

ポート切替

各ポート切替は、いずれも[Scroll Lock]キーを 2 回押して開始します。下表では、各ホットキーで実行できるアクションについて説明します。

注意: [Scroll Lock]キーの使用が他のプログラムの動作と競合する場合は、このキーの代わりに[Ctrl]キーがお使いいただけます。詳細は p.27 「ポート切替の代替キー」をご参照ください。

ポート切替(循環切替)

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [Enter]	KVM 操作を順に次のポートへと切り替えます。 CS82U: 1→2→1 CS84U: 1→2→3→4→1

ポート切替(ダイレクト切替)

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [Enter]	KVM 操作を直接指定したポートID に接続されたコンピューターへと切り替えます。

注意: 表中の **n** はコンピューターのポートID を表します(1、2、3、4)。p.22 「ポートID の割り当て」をご参照ください。また、ホットキーを実際にご利用になる際には、表中の **n** の部分に切替対象となるポートID を適宜入力してください。

オートスキャン

オートスキャンは、一定の時間間隔で自動的にポートを切り替えて表示する機能です。この機能によって、手動でポートの切替操作をせずに、KVM スイッチに接続された全てのコンピューターの状態を監視することができます。詳細は下表をご参照ください。

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。ポートの選択が 5 秒間隔 で切り替わります。デフォルト設定はこの 5 秒間隔となっています。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [Enter] [n]	オートスキャンモードを有効にします。ポートの選択が n 秒間隔 で切り替わります。 このホットキーの n の部分には 1~4 の数字を入力してください。 CS82U/CS84U でのオートスキャンの時間間隔は、以下の通りです。 1 = 3 秒間 2 = 5 秒間 (デフォルト) 3 = 10 秒間 4 = 20 秒間

- 注意:**
1. オートスキャンモードが有効になっている間は、通常のキーボード/マウス操作はできません。オートスキャンモードに対応したキー入力とマウスクリックのみが使用できます。通常のコンソール操作を行うには、オートスキャンモードを中止してください。
 2. コンピューターの画面はポートからポートへと切り替わりますが、キーボードとマウスの操作は切り替わっていません。キーボードとマウスの操作はオートスキャンを開始したポートに接続されたコンピューターにとどまったままの状態となっています。
 3. オートスキャンモードを中止するには、[Esc]またはスペースキーを押してください。

ホットキーセッティングモード

ホットキーセッティングモードは、CS82U/CS84Uの設定を行う際に使用します。各操作を行う前には、必ずこのホットキーセッティングモードを起動します。

ホットキーセッティングモードの起動

ホットキーセッティングモードを起動するには、下記の手順に従ってください。

1. [Num Lock]キーを押したままにしてください。
2. [-]キー(マイナスキー)を押して指を離してください。
3. [Num Lock]キーから指を離してください。

注意:

1. ホットキーセッティングモードは別のキー操作でも起動することができます。詳細は p.27 をご参照ください。
2. [-]キーは、0.5 秒以内に指を離してください。これ以上長くキーを押し続けるとホットキーの起動がキャンセルされます。

ホットキーセッティングモードが有効になると、キーボードの Caps Lock、Scroll Lock LED が交互に点滅します。ホットキーセッティングモードを終了すると、LED は通常の状態に戻ります。

また、ホットキーセッティングモード中は、通常のキー入力やマウスの操作が無効となります。ホットキーセッティングモードで有効なキーボード入力、マウスクリックのみが操作可能となります(以下の章で説明します)。

ホットキーセッティングモードは、コマンドを入力後に自動的に解除されるものと、手動で解除するものがあります。手動でホットキーセッティングモードを解除する場合は、[Esc]キーかスペースバーを入力してください。

ホットキーセッティングモードの代替起動キー

デフォルトのホットキーセッティングモードの起動キーがコンピューター上で動作しているプログラムと競合した場合に備え、このキーの代替起動キーが提供されています。

ホットキーセッティングモードの代替キーに切り替える場合は、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.26 参照)。
2. [H]を押して指を離してください。
ホットキーセッティングモードの起動キーが[Num Lock]+[Ctrl]から[Ctrl]+[F12]に変更されます。

注意: この操作は、デフォルトキーと代替キーに交互に切り替えます。元のホットキーセッティングモード起動キーに戻す場合は、もう一度ホットキーセッティングモードを起動して[H]キーを押してください。

ポート切替の代替キー

ポート切替の起動キーは[Scroll Lock]キーの2度押し([Scroll Lock] [Scroll Lock])から、[Ctrl]キーの2度押し([Ctrl] [Ctrl])に変更することができます。ポート切替の起動キーを変更する場合は、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.26 参照)。
2. [T]キーを押して指を離してください。

注意: この操作は、デフォルトキーと代替キーに交互に切り替えます。元の[Scroll Lock]キーの2度押しに戻す場合は、もう一度ホットキーセッティングモードを起動して[T]キーを押してください。

キーボード言語

キーボード言語を変更する場合は、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.26 参照)。
2. [F6] [nn] [Enter]キーを押してください。

注意: nn はキーボード言語を表す 2 桁の数字です。(US 英語:33、フランス語:08、日本語:15)

キーボード操作プラットフォーム

CS82U/CS84U のデフォルトポートは、PC 互換のキーボード操作プラットフォームに設定されています。例えば、お使いのコンソールで PC 互換のキーボードを使用し、ポートには Mac のコンピューターを接続している場合、このポートのキーボード操作プラットフォームの設定を変更し、PC 互換キーボードで Mac キーボードをエミュレーションすることもできます。操作手順は下記の通りです。

1. プラットフォームの設定対象となるポートで KVM 操作をしてください。
2. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.26 参照)。
3. 適切なファンクションキーを押して指を離してください(下表参照)。この操作を終えると、ホットキーセッティングモードを自動的に終了します。

ファンクションキー	機能
[F2]	Mac キーボードエミュレーションを有効にします。詳細は p.33 「Mac キーボード」をご参照ください。
[F3]	Sun キーボードエミュレーションを有効にします。詳細は p.35 「Sun キーボード」をご参照ください。
[F10]	キーボードエミュレーションを無効にします。キー入力は直接そのままコンピューターに伝送されます。例えば Mac キーボードを使用して Mac コンピューターを操作する場合にこの機能を使用します。

切替設定の一覧表示

現在の切替設定一覧を確認するには、下記の手順に従ってください。

1. テキストエディターかワープロソフトを開いて、ページ画面にカーソルを置いてください。
2. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.26 参照)。
3. [F4]キーを押して指を離し、設定を表示してください。

USB リセット

USB が認識されなくなり、リセットが必要になった場合は、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.26 参照)。
2. [F5]キーを押して指を離してください。

ホットキービープ音

ビープ音を有効または無効にすることができます。ビープ音の有効/無効を設定するには下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.26 参照)。
2. [B]キーを押して指を押してください。

この操作は有効と無効を交互に切り替えます。

ポート切替キーの無効化

ポート切替キー([Scroll Lock] [Scroll Lock] / [Ctrl] [Ctrl])を無効にするには下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.26 参照)。
2. [X] [Enter]キーを押してください。

注意: この操作は有効と無効を交互に切り替えます。ポート切替キーを有効にするには、手順 1 と 2 を繰り返してください。

ファームウェアアップグレードモード

CS82U/CS84U のファームウェアアップグレードを設定するには、以下の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.26 参照)。
2. 「**upgrade**」という文字を入力してください。
3. [**Enter**]キーを押してください。

フロントパネルの全ての LED ランプ (グリーンとオレンジ) が点滅し、ファームウェアアップグレードモードが有効であることを表します。

注意: ファームウェアアップグレードモードを終了する場合は、製品本体の電源を切る必要があります。

デフォルト設定の復元

CS82U/CS84U をリセットし、デフォルトのホットキー設定に戻す場合は、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.26 参照)。
2. [**R**] [**Enter**]キーを押してください。

詳細は、p.44「ホットキーのデフォルト設定」をご参照ください。

ビデオダイナシク

ビデオダイナシクは、ブート時のディスプレイ問題を回避し、ポート切替時に解像度を最適化する ATEN 独自の技術です。この機能を起動する場合は、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.26 参照)。
2. [**D**]キーを押してください。

マウスによるポート切替

マウスによるポート切替を有効または無効にする場合は、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.26 参照)。
2. [W]キーを押してください。

注意: 1. この操作は有効と無効を交互に切り替えます。
2. デフォルト設定では無効になっています。
3. この機能はマウスエミュレーションが有効になっているときのみサポートされます。

マウスエミュレーションコントロール

マウスエミュレーションを有効または無効にするには、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.26 参照)。
2. [M]キーを押してください。

キーボードエミュレーションコントロール

キーボードエミュレーションを有効または無効にするには、以下の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.26 参照)。
2. [N]キーを押してください。

注意: キーボードエミュレーションが無効となっている場合、[m]、[w]、[F2]、[F3]、[F10]、[F4]、[F5]、及び[F6]のホットキーは無効となります。

その他の OS モード

USB2.0 非対応の OS でキーボードとマウスをリセットする場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.26 参照)。
2. [F1]キーを押してください。

ホットキーセッティングモード一覧表









ホットキーセッティングモード(p.26 参照)を起動した後、下記のキーのいずれかを入力して、そのキーに対応した機能を実行してください。

ホットキー	機能
[H]	ホットキーセッティングモードの起動キーを、デフォルト([Num Lock][－])と代替([Ctrl][F12])で交互に切り替えます。
[T]	ポート切替キーを、デフォルト([Scroll Lock][Scroll Lock])と代替([Ctrl][Ctrl])で交互に切り替えます。
[F2]	Mac キーボードエミュレーションを有効にします。
[F3]	Sun キーボードエミュレーションを有効にします。
[F10]	キーボードエミュレーションを無効にし、パススルーキーボードモードを有効にします。
[F4]	テキストエディターまたはワープロソフトを使用して、現在の切替設定を一覧表示します。
[F5]	全ての USB デバイスでリセットを実行します。
[F6][<i>mn</i>][Enter]	キーボード言語を設定します。 注意: mn は 2 桁の数字で以下のキーボード言語コードを表します。(US 英語:33、フランス語:08、日本語:15)
[B]	ビープ音を有効/無効にします。
[X] [Enter]	ポート切替キーを有効/無効にします。
[R] [Enter]	ホットキーの設定をデフォルト値にリセットします。
[u][p][g][r][a][d][e][Enter]	ファームウェアアップグレードモードを起動します。
[D]	ビデオダイナミック機能を起動します。これはブート時のディスプレイ問題を回避し、ポート切替時に解像度を最適化する ATEN 独自の技術です。
[N]	キーボードエミュレーションを有効/無効にします。
[M]	マウスエミュレーションを有効/無効にします。
[W]	マウスによるポート切替を有効/無効にします。
[F1]	USB2.0 非対応の OS でキーボードとマウスのリセットを実行します。

第5章 キーボードエミュレーション

Mac キーボード



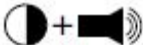




キーマッピングのエミュレーション機能により、PC 互換(101/104 キー)キーボードは Mac キーボードのファンクションキーを使用することができます。エミュレーションマッピングは下表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Mac キーボード
[Shift]	Shift
[Ctrl]	Ctrl
	
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Alt]	Alt
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	=
[Enter]	Return
[Backspace]	Delete
[Insert]	Help
[Ctrl] 	F15

注意: 上記の組み合わせでキーを入力する場合には、最初に入力するキー ([Ctrl]キー)を離してから、次のキーを入力するようにしてください。

Sun キーボード

[Ctrl]キーとほかのキーを組み合わせることで、PC 互換(101/104 キー)キーボードからキーマッピングのエミュレーション機能を利用して Sun のキーボードのファンクションキーを使用することができます。該当する機能については下表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Mac キーボード
[Ctrl] [T]	Stop
[Ctrl] [F2]	Again
[Ctrl] [F3]	Props
[Ctrl] [F4]	Undo
[Ctrl] [F5]	Front
[Ctrl] [F6]	Copy
[Ctrl] [F7]	Open
[Ctrl] [F8]	Paste
[Ctrl] [F9]	Find
[Ctrl] [F10]	Cut
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Ctrl] [H]	Help
	Compose
	

注意: 上記の組み合わせでキーを入力する場合には、最初に入力するキー ([Ctrl]キー)を離してから、次のキーを入力するようにしてください。

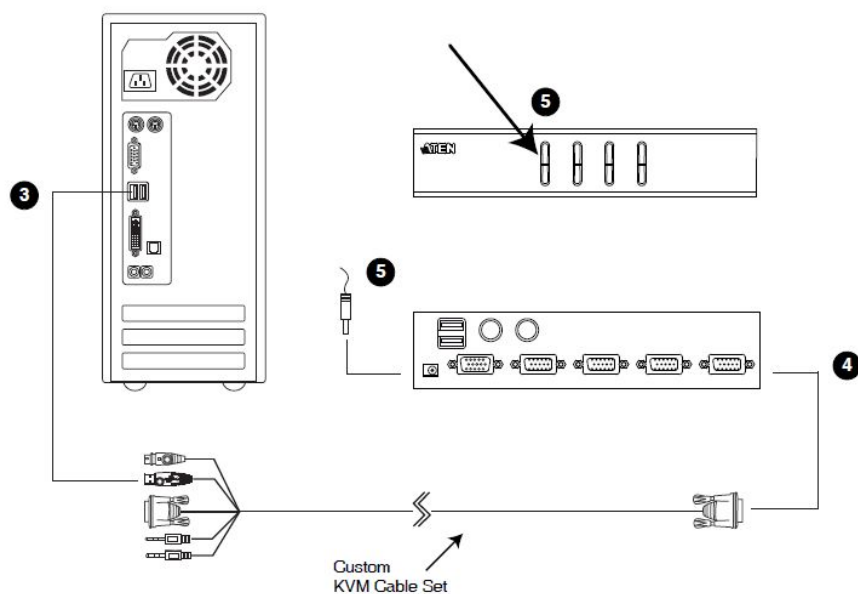
第6章

ファームウェアアップグレードユーティリティ

CS82U/CS84U のファームウェアのアップグレードを自動化するために、ファームウェアアップグレードユーティリティと呼ばれる Windows ベースの専用ツールを提供しています。このツールは各デバイスのファームウェアアップグレードパッケージに含まれています。弊社ウェブサイト定期的にアクセスいただき、最新版のパッケージで製品のファームウェアをアップグレードしてください。

作業を始める前に

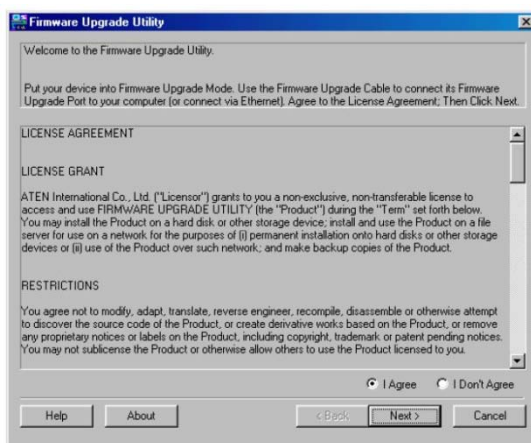
1. 製品に接続されていないコンピューターから ATEN のサポートサイトにアクセスし、お使いのデバイス (CS82U/CS84U) の型番をリストから選択して、利用可能なファームウェアアップグレードパッケージの一覧を表示してください。
2. インストールしたいファームウェアアップグレードパッケージ (通常は最新版) を選択し、このパッケージをお使いのコンピューターにダウンロードしてください。
3. お使いのシステムから CS82U/CS84U を外し、製品本体の電源を切ってください。その後、KVM ケーブルセットの USB タイプ A のコネクタをお使いのコンピューターの USB ハブポートに接続してください。



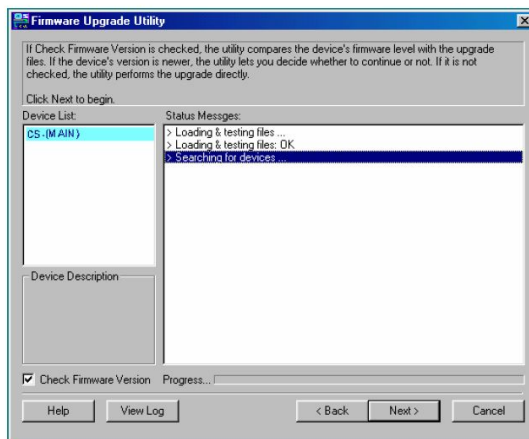
4. KVM ケーブルの反対側にある SPHD コネクターを製品本体 KVM セクションのポート 1 に接続してください。
5. ファームウェアアップグレードモード (p.30 「ファームウェアアップグレードモード」参照) を起動してください。フロントパネルの LED が点滅してファームウェアアップグレードモードが有効であることを表します。

アップグレードの開始

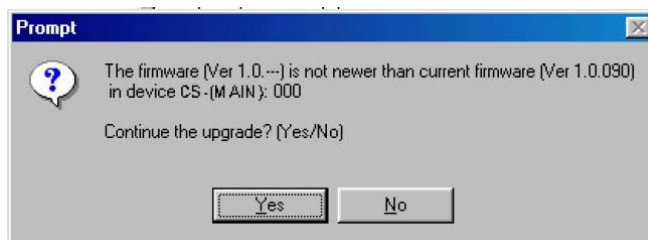
1. ダウンロード済のファームウェアアップグレードパッケージファイルのアイコンをダブルクリックするか、このファイルのフルパスをコマンドラインで指定するかして、パッケージを実行してください。「Firmware Upgrade Utility」の初期画面が表示されます。
2. ライセンス使用許諾契約を確認し、同意する場合は「I Agree」ボタンを有効にしてください。



3. 「Next」ボタンをクリックしてください。ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。このユーティリティはお使いのシステム構成を自動的に検出し、このパッケージでアップグレードできる全デバイスを「Device List」パネルに一覧表示します。



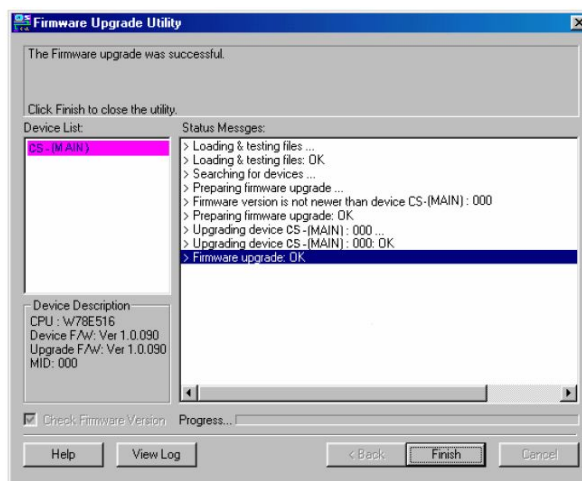
4. 一覧からデバイスを選択すると、このデバイスの説明が「Device Description」パネルに表示されます。デバイスを選択したら、「Next」ボタンをクリックしてアップグレードを実行してください。「Check Firmware Version」の項目を有効にすると、ユーティリティーはデバイスとアップグレードファイルの間でファームウェアバージョンを比較します。デバイスのバージョンがアップグレードバージョンよりも新しい場合は、操作を続行するかキャンセルするかの選択を促すダイアログが表示されます。



「Check Firmware Version」の項目を有効にしなかった場合、ユーティリティーはバージョンの比較を行わずにアップグレードファイルのインストールを行います。

アップグレード成功

アップグレードが完了すると、下図のような画面が表示されて処理が成功したことを表します。



ファームウェアアップグレードユーティリティーを終了する場合は、「Finish」ボタンをクリックしてください。

操作が成功すると、CS82U/CS84U はファームウェアアップグレードモードを終了して、リセットを行います。

アップグレード失敗

「Upgrade Succeeded」画面が表示されない場合、アップグレード失敗したことを表します。その場合は、下記の手順に従ってください。

1. ポート 1 のポート選択ボタンを押したままにして、KVM ケーブルの USB ケーブルを使用して (p.37 の図を参照)、CS82U/CS84U をコンピューターに接続しファームウェアアップグレードモードを実行してください。フロントパネルの LED ランプが点滅してファームウェアアップグレードモードが有効になっていることを表します。
2. アップグレードをもう一度実行します。p.36 の図をご参照ください。

付録

製品仕様

機能		CS82U	CS84U
コンピューター接続数		2	4
コンソール接続数		1	
コンピューター側対応 インターフェース	キーボード	PS/2、USB	
	マウス		
コンソール側対応イン ターフェース	キーボード	PS/2、USB	
	マウス		
ポート選択方法		プッシュボタン、ホットキー、USB マウス	
コンピューター側 コネクタ	キーボード	SPHD メス×2	SPHD メス×4
	マウス		
	モニター		
コンソール側 コネクタ	キーボード	ミニ DIN6 ピンメス×1	
		USB タイプ A メス×1	
	マウス	ミニ DIN6 ピンメス×1	
	モニター	USB タイプ A メス×1	
		D-sub15 ピンメス×1	
電源ジャック		DC 電源ジャック×1	
スイッチ	選択	プッシュボタン×2	プッシュボタン×4
LED	ポート選択	グリーン×2	グリーン×4
	オンライン	オレンジ×2	オレンジ×4
キーボード・マウスエミュレーション		PS/2、USB	
スキャンインターバル		3、5、10、20 秒/5 秒(デフォルト)	
電源仕様(オプション)		バスパワー (別売アダプター) 型番:0AD8-0005-10EG 入力:AC 100~240V 50~60Hz 出力:DC5V / 1A	
消費電力		DC5V、1.1W	DC5V、1.2W
VGA 解像度		最大 2,048×1,536@60Hz DDC2B 準拠	

(表は次のページに続きます)

機能		CS82U	CS84U
動作環境	動作温度	0～50℃	
	保管温度	-20～60℃	
	湿度	0～80%RH、結露なきこと	
ケース材料		メタル	
重量		540g	770g
サイズ(W×D×H)		140×87×55mm	210×87×55mm
同梱品		2L-5301UP ケーブル×2 ユーザーガイド×1	2L-5301UP ケーブル×2 2L-5302UP ケーブル×2 ユーザーガイド×1
対応 KVM ケーブル		《USB KVM ケーブル》 2L-5201U (1.2m) 2L-5202U (1.8m) 2L-5203U (3m) 2L-5205U (5m) 《PS/2・USBKVM ケーブル》 2L-5301UP(1.2m) 2L-5302UP(1.8m) 2L-5303UP(3m)	
		* 注意: 標準で PS/2・USB ケーブル(2L-5301UP×2)が 付属しています。	

トラブルシューティング

操作上の問題は様々な理由によって起こります。問題が発生したら、まずケーブルが KVM スイッチ及びコンピューターの各ポートに正しく接続されていることを確認してください。また、製品のファームウェアをアップグレードさせることによって以前のバージョンがリリースされてから発見されたり、解決されたりした問題を解決できることがあります。現在お使いのバージョンが最新のものではない場合は、最新版のファームウェアを適用することを推奨します。詳細は、p.36 第 6 章「ファームウェアアップグレードユーティリティ」をご参照ください。

問題	考えられる原因	解決方法
動作に異常が見られる。	本体に十分給電されていない。	DC5V の電源アダプターを使用されていない場合は、これを使用してください。既に電源アダプターをご使用の場合は、この電源アダプターがシステムの使用に適しており、本体に正しく接続されて動作していることを確認してください。
	キーボードやマウスのリセットが必要	コンソールポートからケーブルを一旦抜いて接続し直してください。
	コンピューターと接続されていない。	本体とコンピューターをつなぐケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	KVM スイッチのリセットが必要。	使用している全てのデバイスの電源を切ってください。また KVM スイッチの電源も切り、5 秒程経過した後で電源を入れ直してください。
USB デバイスが反応しない。	USB ポートのリセットが必要。	本体リアパネルの USB ポートから USB ケーブルを一旦抜いて接続し直してください。
		USB リセットのホットキー (p.29 参照) を使って USB ポートのリセットを行ってください。
[Scroll Lock] キーの 2 度押しホットキーでポートの切替ができない。	キーボードが [Scroll Lock] キーによる起動に対応していない。	ポート切替の代替起動キーに切り替えてください。詳細は、p.2727 「ポート切替の代替キー」をご参照ください。

(表は次のページに続きます。)

問題	考えられる原因	解決方法
KVM ケーブルをホットプラグした後でモニターに何も表示されなくなる	グラフィックカードがケーブルのホットプラグに対応していない。	使用するデバイスの電源を全て切ってください (p.6 「安全にお使い頂くために」参照)。製品本体の電源を切って全ての KVM ケーブルが正しく接続されていることを確認した後、製品本体の電源を入れ、コンピューターの電源を入れてください。
ポートを切り替えてもモニターに何も表示されない。	モニターが新しい、またはセットアップ後に初めて使用する。	ポートをもう一度切り替えて、PC の EDID 情報がモニターに送信されるまで 2 秒以上待機してください。
	ポート切替時に PC の EDID 情報がモニターに送られない。	[d]ホットキーを使用してビデオダイナシンクをもう一度起動するか、別の PC に切り替えて製品本体に再接続してください。詳細は、p.32 「ホットキーセッティングモード一覧表」をご参照ください。

ホットキーのデフォルト設定

工場出荷時におけるホットキーのデフォルト設定は下表の通りです。

設定	ホットキー	デフォルト
ポート切替	[T]	[Scroll Lock][Scroll Lock]
ホットキーセッティングモードの起動	[H]	[Num Lock][ー]
オートスキャンのインターバル	[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [Enter]	5 秒間
キーボード操作プラットフォーム	[F10]	PC 互換
マウスエミュレーション	[M]	有効
キーボードエミュレーション	[N]	有効
マウスによるポート切替	[W]	無効
ビデオダイナシンク	[D]	有効
ポート切替キー(On/Off)	[X] [Enter]	有効
ビープ音	[B]	有効
キーボード言語	[F6] [nn] [Enter] 注意:nn は言語番号	英語